

# 平成29年度 統計グラフ佐賀県コンクール 入賞作品紹介



佐賀県及び佐賀県統計協会では、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに役立てるため、毎年、統計グラフ佐賀県コンクールを実施しています。

今年度は、全6部門に238点の応募があり、特選5点、入選21点、佳作41点、また特別賞として佐賀新聞社賞、サガテレビ賞が1点ずつ決定しました。

さらに、学校をあげて統計教育に取り組み、作品を多数出品するとともに、統計知識の普及に貢献された鹿島市立北鹿島小学校、佐賀市立大和中学校の2校を学校賞に決定しました。

また、入賞した作品の中から優秀な作品18点を全国コンクールに出品したところ、1点が入選に1点が佳作に入賞しました。

平成29年度 統計グラフ佐賀県コンクール応募状況

部 門	応募作品数	応募者数
第1部（小学校1～2年生）	36	37
第2部（小学校3～4年生）	72	81
第3部（小学校5～6年生）	78	99
第4部（中学生）	18	37
第5部（高校生～一般）	2	5
パソコン統計グラフの部	32	38
合 計	238	297

※規格外作品含む

★統計グラフコンクールについて、詳しくはこちら★

さが統計情報館

検索

## 【主催・後援】

主催：佐賀県、佐賀県統計協会

後援：佐賀県教育委員会、佐賀新聞社、サガテレビ

## 【審査員】

牛丸 和人 氏（牛津高等学校 校長）他 9名



## 総評

本年度の審査会において、まず驚いたのは小学生、中学生の作品のレベルがとても向上しているということです。児童、生徒の皆さんの根気強い取り組みと、先生方や保護者の皆様の熱心なご指導のおかげだろうと感心しました。また、入賞作品の中には、一昨年度から実施をしている「統計グラフワークショップ」に参加した児童、生徒の皆さんの作品も多く見られ、その成果が発揮されていることはとても喜ばしいことです。統計グラフには「グラフの示すデータの量や正確さ」が求められるのはもちろんですが、そのことに加え「それぞれの発達段階に応じたテーマや表現方法が用いられているか」ということや、「グラフを見る人たちの興味関心をひくようなデザインやイラストが効果的に取り入れられているか」ということも大切なポイントとなります。ですから、日頃から、いろいろな場所で目にするグラフやポスターなどに注意を傾け、工夫されている点を探し、感性を磨くことも大切です。今後も統計に対する意識を高め、観る力、表現する力を高めていって欲しいと願っています。

## 【表彰式】

平成29年11月21日（火曜日）

佐賀県庁 旧館 正庁



## 【入賞作品展示】

平成29年11月18日（土曜日）～23日（祝・木曜日） 佐賀県庁 新館 県民ホール

★第1部(小学校1～2年生の児童)

【特選】



講評

鳥栖市の「河内河川プール」は河内ダムの上流にあり、自然の石や岩を利用し、大木川の水を引き込んで作られた人工プールですね。そこを訪れた人たちへの聞き取りを基にした作品です。水鉄砲で遊ぶ少年やカニの姿から、学校のプールと違い、ここでは水生生物とも触れ合えるということが一目わかります。円グラフや棒グラフにも楽しい工夫がされていて、作者がこのプールを大好きだということも分かるとても楽しいグラフです。

受賞者の声

アンケートを聞くのがとてもはずかしかったですが、すばらしい賞に選ばれて、勇気を出して良かったと思いました！このテーマをえらんだのは、昨年かわちかせんプールでとったカニを家で1年育てました。他にも楽しいことがたくさんあるので、調さすることにしました。しらべてみたら、車で80分もかかって来ている人や、色んな町から来ているびっくりしました。グラフを作るのはむずかしかったですが、コンパスで上手に円がかけられるようにもなりました。絵をかくのが好きなので、楽しいグラフになるように考えました。

〈また行こうね かわちかせんプール〉  
鳥栖市立鳥栖北小学校 2年 坂口 蒼侑

【入選】

へさがのお天気1ヶ月  
佐賀市立赤松小学校  
2年 上坂 佳史



へどんな朝をすごしている?<br>有田町立有田中部小学校  
2年 岩永 一香



へしりたいな! みんなのは<br>佐賀大学教育学部附属小学校  
1年 荒木 遥太朗

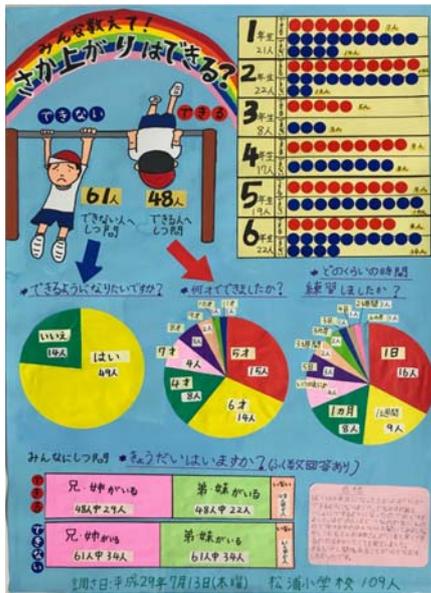


へみどりのカーテン大きくせん!<br>ゴージャスな力で夏をのりきろう!<br>佐賀大学教育学部附属小学校  
2年 片瀨 薫乃



## ★第2部(小学校3～4年生の児童)

### 【特選】



〈みんな教えて！ さか上がりはできる？〉  
伊万里市市立松浦小学校 4年 中村 祐之介

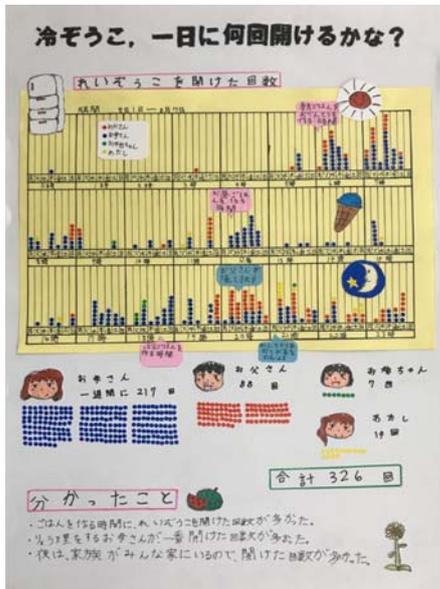
#### 講評

小学生にとっては、逆上がりができるかどうかということは気になることなのですね。このグラフを見ていて興味深いのは、上級生になれば自然にできるようになるものではないというデータです。作者はそこに目を付け、学校以外でサポートしてくれる兄弟姉妹の有無との関係を調べています。自分が気になること、疑問に思っていることを取り上げることでオリジナリティーの高い統計グラフが出来上がるのです。イラストもきれいで

#### 受賞者の声

ぼくは9才でやっとさか上がりができるけど弟は4才でできました。みんなはどうなのか知りたくて調査しました。調べてみて、ほとんどの人が小学校に入る前にさか上がりが出来ると分かって驚きました。できない時のもやもやした気持ちを男の子の表情に、出来たしゅん間のにじを見た時のようなうれしい気持ちを絵に表しました。

## 【佳作】【サガテレビ賞】



〈冷そうこ、1日に何回開けるかな？〉  
鳥栖市立鳥栖北小学校 3年 福田 愛菜

#### 講評

この作品はビジュアル的には、まだ工夫の余地があるものの、1つのグラフの中で1日通しての時間軸があり、更にそれが曜日別に分けてあって2つの要素が1つのグラフで成立しています。また冷蔵庫を開ける回数で「お母さんが晩ご飯を作っているのかなあ？」とか「お父さんが仕事から帰ってビールを飲んでいるのかなあ？」などと想像力をかき立てられ、冷蔵庫を通して家族の生活が見えるような気がしました。この2点を評価して選ばせていただきました。

#### 受賞者の声

初めてとう計グラフコンクールに作品を出てんで、じゅしょうできてとてもうれしいです。このテーマをえらんだのは、わが家では、みんなよくれいそうこを開けるので、一日に何回開けているか気になり、このテーマに取り組みました。調べてみてわかったことは、おりょう理をするお母さんが一番開ける回数がおおかったことと、ごはんの時間やお風呂上がりに開ける回数が多かったです。24時間分のグラフを書くのがたいへんでした。だれが何回開けたかわかりやすくするために、家族のシールの色をかえてくふうしました。



〈教えて! みんなの生活〉  
佐賀市立赤松小学校 4年 上坂 壮史



〈B(べん強)1グランプリ〉  
神埼市立西郷小学校 3年 馬場 美月



〈がばいすごか!! 熱気球世界大会2016in佐賀〉  
佐賀大学教育学部附属小学校 4年 松本 良啓



〈ようこそ 佐賀城本丸へ〉  
多久市立東原彦舎中央校 3年 中尾 文香

## ★第3部(小学校5～6年生の児童)

### 【特選】



〈NO GAME NO LIFE!?〉  
佐賀大学教育学部附属小学校 6年  
加藤 寛陽

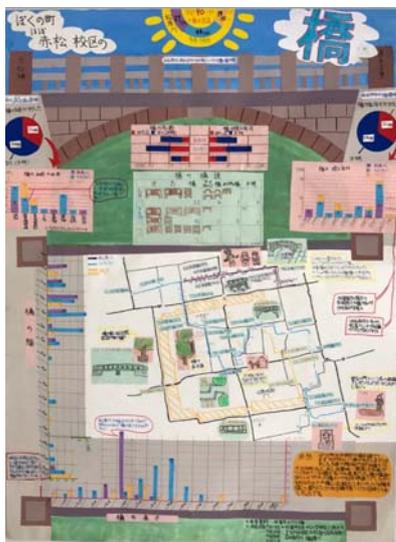
#### 講評

ニュータイプの統計グラフが登場しました。統計グラフには、多くの人に興味・関心をもってもらえるための「仕掛け」に必要なのですが、この作者はその「仕掛け」に漫画的な要素を取り入れています。グラフやイラストの工夫や表現技術の高さもさることながら、作者のユーモアのセンスが抜群です。おそらく、この統計グラフを目にした人の多くが、隅から隅まで目を通し、ゲームについて作者と一緒に考えてくれるはずですよ。

#### 受賞者の声

うれしいというより感謝です。アンケートに協力してくださった方やアドバイスをくれた両親に感謝したいです。  
ほかゲームが好きでついやりすぎて、注意されるので周りの方の意見も欲しくなりこのテーマを選びました。  
友達もゲームをしたい気持ちは大部分は一緒で、でも、がまんしている人もいたので反省しました。大人の方が意外にもゲームに理解があるのに驚きました。  
いままでにない、おもしろい、ということでマンガ風にしてみました。題字の書体も工夫しました。

### 【入選】【佐賀新聞社賞】



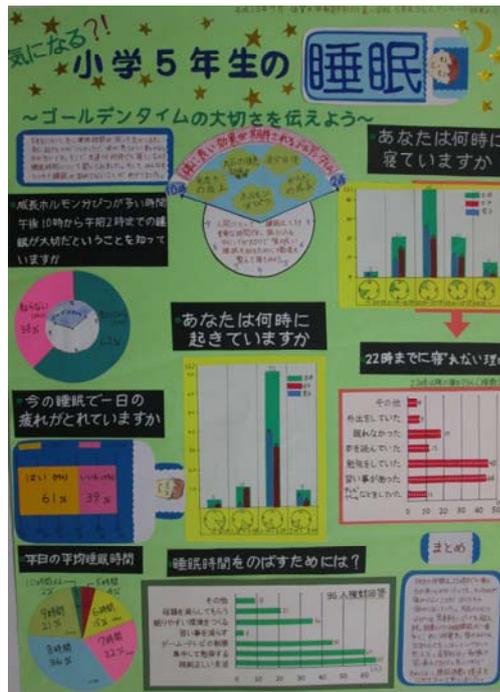
〈ほくの町ほほ赤松校区の橋〉  
佐賀市立赤松小学校 5年  
山本 裕喜

#### 講評

普段なにげなく通ってしまう橋にスポットを当てた着眼点の面白さに加え、写真を撮ったり、メモをしながら、ひとつひとつ調べ上げた熱心な姿が思い浮かびます。橋の名前やその由来、長さ、構造、竣工年月、川ごとにかかる本数など細かく分類し、分かりやすくグラフに表現されています。  
地図にまで落とし込まれた作品は、そのまま観光ガイドマップにできるような仕上がりで見ていて楽しくなりました。次は何を調べてくれるのか期待しちゃいます。

#### 受賞者の声

佐賀の橋について調べたので、佐賀を代表する佐賀新聞社にほくの作品をえらんでもらって、とてもうれしく思いました。  
昨年、自転車で、ほくの町の信号機を調べて楽しかったので、今年も、自転車で、今度は、佐賀の特色”水路”にちなんだ橋を調べました。  
赤松校区には、面白い名前の橋がたくさんあり、公園の中の木がたくさんしげった場所にも、橋があったので、赤松校区の橋は面白い橋が多いと気づきました。  
デザインに力を入れました。橋の絵から、グラフにつなげたり工夫しました。橋の上にグラフをかいたり、また、観光マップ風に橋の地図も入れました。



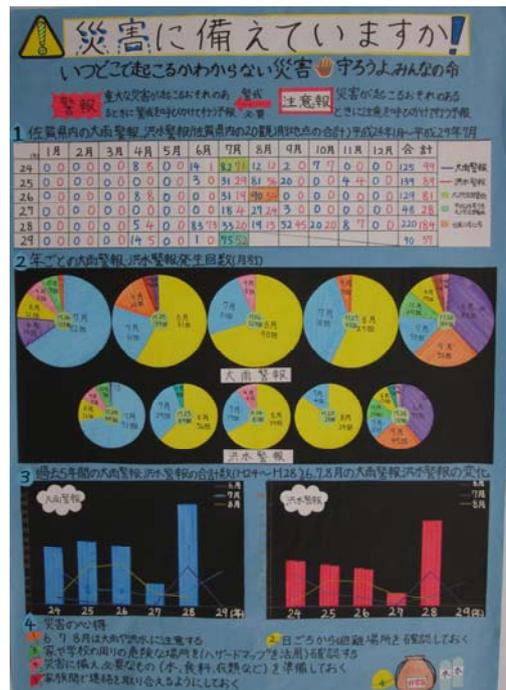
〈気になる?! 小学5年生の睡眠〜ゴールデンタイムの大切さを伝えよう〜〉

佐賀大学教育学部附属小学校 5年 片淵 薫人  
佐賀大学教育学部附属小学校 5年 北古賀 正一郎



〈九州北部をおそった豪雨〉

佐賀市立三瀬小学校 5年 福島 和奏  
佐賀市立三瀬小学校 5年 行武 采音

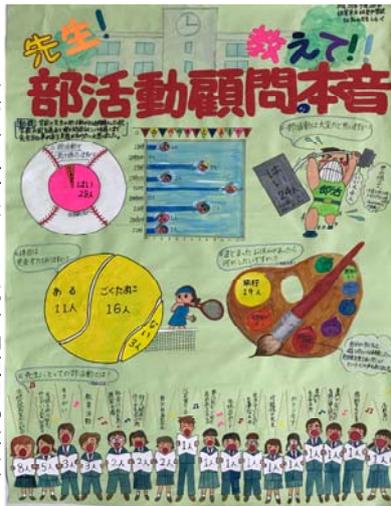


〈災害に備えていますか!〉

佐賀大学教育学部附属小学校 6年 吉島 輝

★第4部(中学校の生徒)

【特選】



〈先生! 教えて!! 部活動顧問の本音〉

佐賀市立昭栄中学校  
一年 森 球道

講評

この作者は「部活動」をテーマにしようと思った時に、生徒の視点からではなく、指導をして下さっている先生方の視点から部活動の課題を考えることにしたのですね。それぞれの質問の結果を表すグラフには、運動部や文化部に關係するイラストによる絵グラフが使われています。何と云っても「先生にとっての部活動とは?」の回答を、先生と生徒の混声合唱にしたセンスが、多くの人の目を引くはずですよ。

受賞者の声

小学2年生からチャレンジしています。今回は中学生になり、忙しい中で制作したので、格別に嬉しく思っています。このテーマを選んだ理由は、社会問題として取り上げられており、僕の学校にも毎日遅くまで先生方の車が残っているの、先生方の車が残っているの、先生方の現状を知りたくて選びました。

このテーマを調べてみて、先生方には僕たちの成長のために自分や家族への時間を削って頑張っていたらと痛感しました。「部活動」ということで、様々な部活動のイラストでグラフを表現しました。見る人が『部活動は楽しい!』と思えるように仕上げました。

【入選】



〈行ってみよう世界遺産!!〉

伊万里市立伊万里中学校  
浦田 美咲 (3年)  
副島 こはる (1年)

〈スマホに使われていませんか?〉

多久市立東原産舎中央校 7年  
中尾 幸太

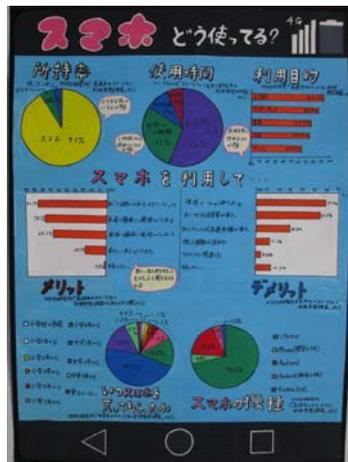


〈宇宙旅行に行ってみな!!〉

伊万里市立伊万里中学校  
荒谷 さよ乃 (3年)  
石本 星 (1年) 峯 妃優 (2年)

〈スマホどう使ってる?〉

小城立芦刈中学校  
山口 愛莉 (2年)  
山口 紗弥 (2年) 水田 和花 (2年)



★第5部（高校生～一般）

【入選】

〈佐賀の七賢人 佐野常民〉 一般



江越 実咲  
江越 みどり  
尹 雨生  
大曲 英俊

★パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)

【全国入選】 【県特選】

講評

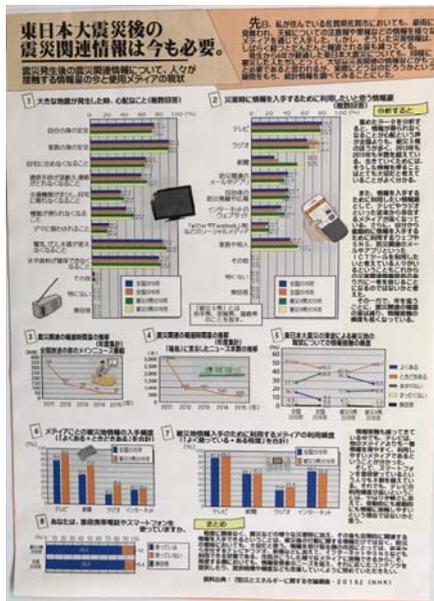
このグラフは、地震に関する情報の量やメディアに注目して問題提起をしています。ここで大切なことは、我が身を守るという意識だけでこのグラフを見るのではなく、東日本大震災によって、家族や親しい人をなくした人、心の病いやけがの後遺症に苦しんでいる人、住む家や土地が崩壊した人、放射能汚染によって家があっても帰れなくなった人たちが、今なおたくさんいらっしゃることに思いを及ぼすということだと思います。

発着者の声

昨年、熊本で起きた大きな地震は我が家でも強く感じました。地震が起きた直後からしばらくはテレビや新聞をはじめ、インターネットニュースなどでも、避難情報やボランティア情報など、震災関連の情報を入手することができましたが、だんだんと少なくなっていくことを、ふと感じたときに調べてみようと思ったのがはじまりです。

統計グラフはデータを集めることが目的ではなく、社会や身の回りの問題に気づき、それを解決するための指標をつくるためだと思います。またそれらがどれだけの役に立つのかを考え、また、このグラフを見る人がどんな思いで見られるのだろうかということ意識しながら制作したので、それが伝わることを願っています。

〈東日本大震災後の震災関連情報は今も必要。〉 一般



中村 純一

【全国佳作】【県入選】

理学療法士の現状

スポーツを通じて考えた職業

佐賀清和高等学校 2年  
江越 由華  
一般 鳥谷 幸佑



【県入選】

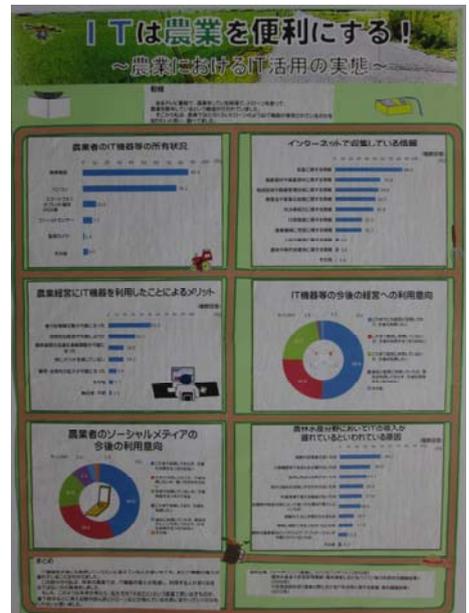


あさんの佐賀愛ば

ちかっと聞かせてくんしゃい

佐賀県立致遠館中学校1年 井上 綾奈

【県入選】



ITは農業を便利にする!

佐賀市立大和中学校2年 立石 琉称

【県入選】



英単語をたくさん覚えるためには?

佐賀市立大和中学校3年 江口 湧樹